学校番号	413

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	東書 日Ａ308『日本史Ａ　現代からの歴史』（東京書籍）						
副教材等	帝国書院編集部編　『図説　日本史通覧』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を学ぶことは,単に昔の知識を増やすことではありませんし,ましてや単に人名や歴史用語,年号を覚えることでもありません。では，なぜ歴史を学ぶのか？　歴史を学ぶ意味はあるのか？以下，歴史を学ぶうえで重要な視点を３つあげておきたいと思います。

第一には，現在は過去の積み重ねのうえに成り立っています。歴史を知らなければ，たとえば現在の日本社会がなぜこうなっているのかは理解できません。したがって，日本社会の将来を考えることもできません。つまり，現在は過去のうえに立って成り立っているし，未来は現在のうえに立って成り立っているということなのです。過去を学び，いまという時代までもどってくると，いまという時代がよくみえてくるし，現代の日本社会がかかえるさまざまな問題や課題―差別・貧困・格差・紛争―に気づくきっかけになります。私たちの未来を希望あるものにするために，いま私たちに求められているものは何か？を考えようとするところに歴史を学ぶ意義があります。

第二には，歴史は多くの場合，「時代」などの長い時間を扱うため，目の前の一日一日のことだけに一喜一憂するのでなく，「長い目」でものごとを評価・判断する力が求められます。歴史を学ぶことは，政治，経済，社会，文化や自然環境など多くの領域を含むため，ものごとを総合的にとらえる力が必要になります。したがって，歴史を学ぶと長期的で広い視野が身につきます（歴史的思考力）。

第三には，時代が違うと，同じ国・地域でも考え方や社会のしくみが違うことが多くあります。とくに世界史の場合は，現代社会ですら自国とは異なったロジックで動いているのがふつうです。したがって歴史を学ぶことは，自分たちの常識とは異なった考え方やしくみを理解する，いわば「異文化理解」の大切な訓練になります。歴史は，まさにアナザーワールドなのです。しかし，そのアナザーワールドを知り,そして理解することによって,ほかの日本社会の可能性があったことも認識できるはずです（現代の相対化）。私たちは，現代人とは異なる過去の人びとの常識・秩序・価値観を知ることにより，初めて現代人の常識・秩序・価値観（現代の常識）に孕まれている問題―私たちの思考や行動を拘束しているもの―を認識することが可能となります。

このように，この３つの視点は，歴史の知識や理解がいかに意味を持ち，歴史を学ぶことで身につく考えかたなのです。

2　学習の到達目標

・近現代の歴史的事象と現在との結びつきについて調べ考える活動を通して，現代の社会やその諸問題・課題は歴史的に形成されたものであるということ，歴史を学ぶ意義に気づく。
・日本近現代史の展開を，年表や地図，さまざまな史資料にもとづいて考察し，近代社会が成立し発展する過程について理解を深める。
・近代社会が成立し発展する過程を，地理的条件や世界史と関連づけて考察することを通して，ものごとを実証的な考察によってとらえる歴史的な思考力，公正な判断力，豊かな表現力を身につける。
・主体的な歴史学習を通して，現代の日本と世界の抱える諸課題について深く考察し，グローバル化が進む現代社会において，平和で民主的な市民社会を形成するために，私たち一人ひとりが当事者意識を持ち，果たすべき役割について考える。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本近現代史に対する関心と課題意識を高め,意欲的に追求するとともに,国際社会において主体的に生き,平和で民主的な社会を形成する市民としての自覚を持つ。	現代世界の諸課題を歴史的観点から深く考察し,国際社会の変化を踏まえ公正に判断して,その過程や結果を適切に表現している。	日本近現代史に関するさまざまな史資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取った図表などにまとめたりしている。	日本近現代史について基本的な事項を地理的条件や世界史と関連づけながら理解し，その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート課題 討論・発表 振り返りシート	定期考査（論述問題） レポート課題 討論・発表	定期考査（史資料の読解） レポート課題 史資料の読解 振り返りシート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・私たちと歴史の結びつき ・私たちの時代	○ ○	 ○	○	○ ○	a:①自分たちが生きている現代社会を形成してきた過程である歴史への関心を高める。②グローバル化する現代社会への関心を高める。①②を通して，意欲的に日本史を学ぶ態度を身につけようとしている。 b:グローバル化の進展と同時にナショナリズムが高まり，世界各地で紛争が生じている状況について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現できる。 c:設定された主題について，必要な史資料を収集し，有用な情報を選択して，読解することができる。 d:①現代社会の課題の歴史的背景について理解している。②グローバル化が進展する一方で，高まる諸地域のナショナリズムについて理解している。①②に関する知識を身につけている。	ワークシート

1学期	近代日本の形成　1　国際情勢の変化と明治維新	・アジア世界の変動 ・開国前夜の日本 ・ペリー来航と条約調印 ・幕末政争の展開 ・大政奉還と王政復古	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	 ○ ○	a:開国前後の国際情勢と国内情勢への関心を高め，開国後の社会の変化や権力闘争の経緯を意欲的に調べ，開国と倒幕との関係，倒幕後に徳川氏が排除された意味についての考察を深めようとしている。 b:ペリー来航により江戸幕府の外交政策が破綻し，日米修好通商条約を調印するまでの経緯について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:さまざまな史料や写真・絵画・統計資料を分析して，当時の政治や社会の状況を示す情報を読み取り，日本の近代化の進展について考察する根拠として活用している。 d:開国後の政治の主導権をめぐる争いの経緯を理解し，その知識を身につけている。また，薩長同盟の成立から戊辰戦争までの経緯を学び，新政府が徳川氏とそれを支持する勢力を排除したことを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

1学期	近代日本の形成　2　明治新政府の諸改革	・新政府の成立 ・身分制度の解体 ・地租改正と殖産興業 ・文明開化の社会 ・明治初期の外交と内政 ・北海道・琉球と国境問題	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ 	a：明治新政府の諸改革やそれが社会にもたらした変化への関心を高め，近代的な統一国家の体制を整えるための諸改革について意欲的に調べ，それらがもたらした政治や経済，社会の西洋化について，国民の負担を探る視点からも考察を深めようとしている。また，明治初期の外交政策への関心を高め，政府が欧米に学んで近代化を進めるにあたって，国境を画定していった経緯を意欲的に調べ，欧米諸国に対する外交と東アジア諸国に対する外交との違いを追究しようとしている。 b：明治初期の外交政策について列強と東アジア諸国に対する態度の違いに留意しながら歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c：様々な写真資料や絵画資料，および文字史料から，日本の近代化の状況を示す情報を読み取り，近代化の進展について考察する材料として活用している。 d：地租改正により近代的な土地所有権が確立されたこと，政府が財源を確保し，通貨の統一や交通・通信網の整備，官営工場設立など，殖産興業に努めたことを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 史資料読解

1学期	近代日本の形成　3　立憲国家の成立	・自由民権運動と政府の対応 ・松方財政と民権運動 ・大日本帝国憲法の制定 ・初期議会と条約改正 ・国民文化の諸相	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:自由民権運動への関心を高め，その展開や経済状況との関連を意欲的に調べ，政府の民権運動への対応や松方財政などへの考察を深め，日本の近代化の特徴を追究しようとしている。 b:①日本の資本主義発達の基礎を整えた松方財政について，自作農の没落などの問題点をふまえて，歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。条約改正交渉の経緯を，国際情勢の変化と関連づけて歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。②大日本帝国憲法が制定されるまでの経緯と憲法の特徴，憲法にもとづいて編纂された諸法典について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。③条約改正交渉の経緯を，国際情勢の変化と関連づけて歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:さまざまな史料（民撰議院設立建白書など）や写真・絵画・統計資料を分析して，当時の政治や社会の状況を示す情報を読み取り，その影響について考察する根拠として活用している。 d:①松方デフレの時期には，民権運動内部の対立や政府の弾圧，激化事件により一時民権運動が衰退したことを理解し，その知識を身につけている。②大日本帝国憲法が制定され諸法典が編纂されるまでの経緯と，大日本帝国憲法の特徴を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート課題

2学期	東アジア世界の変動と日本 1 日清戦争と近代社会の確立	・帝国主義の時代と東アジア ・日清戦争 ・日清戦争後の政治と社会	○ ○ ○	○ ○	 ○	 ○	a：日清戦争前後の国際関係への関心を高め，日清戦争にいたる経緯や日清戦争の展開，戦後の日本や東アジア情勢について意欲的に調べ，日清戦争が日本，清，朝鮮との関係やそれぞれの国の政治や経済，社会にもたらした変化を追究しようとしている。 b：日清戦争の原因を，東アジアの伝統的な国際秩序と近代的な国際秩序の衝突という視点から歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。また，日露戦争の背景，経過，国際情勢や日本の国民意識に与えた影響について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c：さまざまな史料や写真・絵画・統計資料を分析して，当時の政治や社会の状況を示す情報を読み取り，近代日本がおこなった一連の戦争やその影響について考察する根拠として活用している。 d：議会運営のために藩閥と政党が接近して政党の政治的影響力が強まる一方，軍部大臣現役武官制が定められ，政党の力を制限しようとする動きがあったことを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 討論・発表

2学期	東アジア世界の変動と日本 2 日露戦争と帝国日本の形成	・日英同盟と日露戦争 ・韓国併合と東アジア ・産業革命と資本主義の発達 ・桂園時代と社会問題	○ ○ 	○ ○ 	○ ○ 	 ○	a：日露戦争前後の世界と日本への関心を高め，日露戦争にいたる経緯や，日露戦争の展開，日露戦争後の世界について意欲的に調べ，帝国主義の広まりが 20 世紀初頭の国際情勢にもたらした変化や，日露戦争によって日本の政治や経済，社会，国民の意識にもたらされた変化を追究しようとしている。 b：日露戦争の背景，経過，国際情勢や日本の国民意識に与えた影響，日本が台湾や朝鮮を植民地とした経緯とその支配の方針について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c：20 世紀初頭の写真資料や絵画資料を分析し，当時の国際情勢や国内の状況を示す情報を読み取っている。 d：日露戦争後の政治が次第に民衆の要求に応えざるを得なくなっていった経緯を，社会主義の発達と関連づけて理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 討論・発表

2学期	二つの世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と帝国日本	・第一次世界大戦と日本の中国侵略 ・パリ講和会議と東アジアの独立運動 ・大戦による社会の変化と社会運動 ・大正デモクラシーの思想と大衆文化 ・帝国日本と移動する人々	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○	○ ○	a:第一次世界大戦前後の時代への関心を高め，第一次世界大戦前後の世界の動向や日本の社会，経済について意欲的に調べ，大日本帝国の広がりやその中における人々の移動の規模や実態をふまえて，大日本帝国の実態を追究しようとしている。 b:1910～20 年代の社会運動の高まりについて，経済の動向や国際的なデモクラシーの風潮との関連を分析する視点から歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:様々な史資料から，第一次世界大戦やその時期の日本や中国，朝鮮の状況，大戦景気や戦後の経済，社会の状況を示す情報を読み取り，日本の国際的地位の変化を考察する際の材料として活用している。 d:①植民地獲得競争の激化により始まった第一次世界大戦の時期に，日本が中国への侵略を進めた経緯を学び，そのことが日本と中国や欧米列強との関係に与えた影響を理解し，その知識を身につけている。②国際的に平和やデモクラシーを尊重する風潮が高まり，国際連盟が創設される一方で，列強は自国の権益を維持しようとし，それが各地の民族自決を目指す運動の広がりにつながったことを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 史資料読解

2学期	二つの世界大戦と日本 2 政党政治の時代	・政党政治と国際協調 ・関東大震災と社会の統制 ・護憲三派内閣と協調外交の行きづまり	○ ○ ○	○	 ○ ○	 ○	a：近代日本の政党政治への関心を高め，普通選挙法が成立し政党政治が憲政の常道となる過程やその時期の外交政策について意欲的に調べ，第一次世界大戦後の社会について考察を深めようとしている。 b：1920 年代の政党政治について，普通選挙法と治安維持法が同時期に成立したことを手がかりに歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c：治安維持法などの史料を正しく読み，当時の政治や社会について考察する根拠として活用している。また，写真資料や絵画資料を分析し，当時の国際情勢や日本の政治，社会の様子を示す情報を読み取っている。 d：第二次護憲運動を経て政党内閣が「憲政の常道」となり男子普通選挙が実現した背景を，治安維持法も同時期に成立したことをふまえて理解し，その知識を身につけている。また，協調外交のゆきづまりが政治や社会に与えた影響について理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

2学期	二つの世界大戦と日本 3 軍国日本への道	・昭和恐慌と深刻な不況 ・満州事変と満州国 ・軍部の台頭と二・二六事件 ・日中全面戦争の開始 ・国家総動員の時代	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○	○ ○ 	a：1920～30 年代に日本への関心を高め，長く続く不況下で，金融や産業の独占，軍国主義化が進展する経緯，日本をめぐる国際情勢の変化について意欲的に調べ，満州事変，日中戦争の原因やそれらが日本や世界に与えた影響について考察を深めようとしている。 b：満州事変や日中戦争に対する国民の反応と国際社会の反応との比較などを通して，それが国際情勢や日本の政治，経済，社会に与えた影響について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c：写真・絵画といった資料を分析し，戦地や銃後の状況を示す情報を批判的に読み取り，軍国主義台頭の背景，国民が戦争を支持した理由，「大東亜共栄圏」の実態，戦時総動員体制の矛盾を示す根拠として活用している。 d：①昭和恐慌が深刻化し排外熱が高まるなかで，メディアにあおられた国民の支持を受けて満州事変が進んだ結果，昭和恐慌からは回復したものの，日本が国際社会から孤立していった経緯を理解し，その知識を身につけている。②五・一五事件により政党政治の時代が終わると，思想や言論の統制が強化され，二・二六事件をへて軍部が政治への介入を強めていく過程を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート課題

2学期	二つの世界大戦と日本 4 太平洋戦争	・第二次世界大戦と太平洋戦争 ・戦時総動員の徹底と矛盾 ・「大東亜共栄圏」 ・大日本帝国の崩壊へ	○ ○ ○ ○	○	○	○ ○	a:太平洋戦争への関心を高め，太平洋戦争にいたる経緯や戦争の展開，戦争下の人々の生活などについて意欲的に調べ，第二次世界大戦が未曾有の被害をもたらした要因を追究しようとしている。 b:沖縄での標準語導入や占領下における皇民化推進などのために学校が果たした役割を，近代の教育の本質を追究する視点から歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:第二次世界大戦に関する写真資料を分析し，戦地や銃後の状況を示す情報を読み取り，「大東亜共栄圏」の実態や戦時総動員体制の矛盾を示す根拠として活用している。 d:①第二次世界大戦勃発後，日米開戦までの経緯や太平洋戦争の展開を理解し，その知識を身につけている。②戦局が悪化した後も，戦争を継続させたことが，国内・占領地での過酷な動員や徴発による人々の暮らしの圧迫や，米軍の本土空襲による大きな被害につながったことを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表・討論

3学期	第二次世界大戦後の国際社会と日本 1 現代世界の開幕と日本の戦後改革	・大戦後の世界と日本 ・東アジアの再編と人々 ・本土占領と戦後改革の開始 ・日本国憲法の制定と戦後改革の進展 ・困難ななかでの解放感 ・再建と復興への道	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	 ○ ○	○ ○ ○	a:第二次世界大戦末期の状況や戦後の世界への関心を高め，沖縄戦の実態や戦後の国際社会の状況，アメリカによる日本占領政策などについて意欲的に調べ，戦後の国際秩序の特質について考察を深め，日本の戦後改革についても国際情勢と関連づけて追究しようとしている。 b:沖縄戦の実態を，なぜ住民に大きな被害が出たのかを追究する視点から歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:①ポツダム宣言に関する史料を正しく読み，連合国による日本占領の方針を示す情報を読み取り，占領政策の特徴を考察する根拠として活用している。②日本国憲法に関する史料を正しく読み，戦後の日本が掲げた理想を示す根拠として活用している。 d:①沖縄戦の実態を学び，住民に大きな被害が出た理由を理解し，その知識を身につけている。②冷戦下で日米政府が，日本の経済再建を優先することで合意したため，日本の国際経済に復帰する体制が整えられ，朝鮮戦争の特需により経済を復興させられた一方，政治は保守化し，労働運動も圧迫されたことを理解し，身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート課題

3学期	第二次世界大戦後の国際社会と日本　2　高度経済成長の道	・冷戦下の講和 ・保革の対立と55年体制 ・高度経済成長とそのひずみ ・暮らしの現代化	○ ○ ○ ○	○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:冷戦下における西側陣営と東側陣営の対立状況のなかで、西側諸国の特にアメリカとの関係を重視する中で経済成長を遂げていく姿を追求しようとしている。。 b:現代に至るまで、諸外国から日本に戦後補償を求める声が上がっているのはなぜかを考察し，考察したことを適切に表現している。 c:高度経済成長期の写真や映像を参考にし、保護者や周りの大人からの聞き取りで、大衆消費社会の到来と社会生活の変化について、映像等の資料をうまく活用している。 d:冷戦下の中で、西側諸国と強調していくことで高度経済成長を成し遂げ、保守政党が合同することで、政治を安定させる55年体制が創られた経緯を理解し，身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート課題

3学期	現代の世界とと日本 1 国際秩序のゆらぎと経済大国日本	・転換期をむかえた世界と日本 ・冷戦のゆらぎと日本外交 ・石油危機と国際経済秩序の変化 ・自民党政権と行政改革 ・経済大国と国際化	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:高度経済成長のゆがみや公害問題、ブレトンウッズ体制の崩壊や石油危機により高度経済成長の時代が終わった時代への関心を高め，冷戦構造に変化の生じた国際社会の状況などについて意欲的に調べ，アメリカ中心の世界にゆらぎが生じている国際秩序の特質について考察を深め，日本の政治状況についても国際情勢と関連づけて追究しようとしている。 b:1970 年代に日中関係が急速に好転した理由、ブレトンウッズ体制の崩壊と石油危機により深刻な影響を受けた世界経済について世界史的観点から考察し，考察したことを適切に表現している。 c:沖縄返還後も米軍基地が残る沖縄の現状を理解するため、地図を用いて、沖縄の基地がアメリカ軍にとってなぜ重要かを読み取り，基地問題を考察する根拠として活用している。 d:①経済発展を重視してきた政策が、公害問題や労働問題などを生み、それに対応して、エコロジーやフェミニズムなどの新しい価値観が生じたことを理解し，身につけている。 ②石油危機や貿易摩擦を抱えながらも経済成長してきた日本でバブルが崩壊した経緯を理解し、身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート課題

3学期	現代の世界と日本 2 冷戦の終焉と日本	・冷戦の終焉と国際社会の変容 ・東アジア情勢と日本外交の変化 ・55年体制の崩壊と日本政治の変化 ・混迷する経済と社会 ・よりよい未来に向けて	○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	a:冷戦終結後の国際情勢の変化、内紛の多発化、地域統合の問題などに積極的に関心を持ち、こうした問題を解決する方法について意欲的に取り組み、国際情勢と関連づけて追究しようとしている。 b:少子高齢化や東日本大震災の復興問題、エネルギー問題、食糧問題など現在の日本が抱えている問題について考え、解決していくための方法を歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:冷戦終結、バブル崩壊後の政治と経済の動きを表にまとめ、日経平均株価の推移や全国市街地の地価指数、医療費の推移、人口動態、公債依存度の資料などを参考に経済政策の特徴を考察する根拠として活用している。 d:冷戦後の政治の動きを、グローバル化が進展する世界情勢と関連づけて考察し、地域統合や地域協力が進んでいる一方、東アジアに関しては冷戦時代の分断が継続し、地域の不安定要因になっていることをを理解し，身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート レポート課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。